

# 年頭のごあいさつ



高島市議会議長  
廣本 昌久



高島市長  
福井 正明

**新**年あけましておめでとございませ  
す。

皆様におかれましては、健やかに新年を  
お迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、皆様に変なご心配をお掛けし  
てまいりました環境センターダイオキシ  
ン問題に解決の目途がつき、フェニックス  
センターへのばいじん等の搬入を再開するこ  
とができました。皆様には、生ごみ処理機  
の導入をはじめ、ごみ減量に多大なご協力  
をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、昨年は市の将来にとりまして明  
い話題をいくつかお届けすることができま  
した。

8月にリニューアルした市のふるさと納  
税「びわ湖高島えんむすび」に、昨年末ま  
での間、全国各地から約2億円もの寄付

をいただいたこと、また11月には、安曇川  
町の鴨川地先に、会員制高級リゾートホテ  
ルの誘致が決まり、地元雇用はもちろん、  
地元産食材の活用や市内経済への波及が期  
待されることについても公表させていただ  
きました。

さらに観光面では、市内3つの重要文化  
的景観、白鬚神社、シコブチ信仰などを構  
成文化財とする「日本遺産」選定のほか、  
日本初開催となったワールドラン、一昨年  
に引き続きのトレイルランニング開催も  
話題となり、文化・スポーツを通じた地域  
活性化の波が、高島に新たな人の流れを生  
み出すきっかけとなることも期待されるこ  
ろです。

欠かせない道路・橋・水道施設等の老朽化  
に伴う改修や建替えの必要時期が、今後順  
次到来してまいります。

平均の約2倍となる市の公共施設、生活に

このためにも、昨年設置させていただき  
ました「まちづくり推進会議」のように、  
市民の皆さまには今後、高島市全体の課題  
や将来像を、旧町村の居住域にとらわれず  
に考えていただくとような場と機会を創造し  
てまいりたいと思います。

**新**年おめでとございませ  
す。

市民の皆様には、希望に満ちた新  
年を健やかに迎えのことと、心よりお慶  
び申し上げます。また日頃は、議会の運営  
に對しまして、格別のご理解とご協力を賜  
り厚くお礼申し上げます。

さて、合併による市制施行後11年が経過  
し、地方の力が問われている昨今、この時  
にこそ、市民の皆様はもろろん、各地域が  
力を合わせて、一体感のある明るいまちづ  
くりに取り組んでいく必要性を実感してい  
るところであります。

昨年を振り返りますと、環境センターに  
おけるダイオキシンの基準値超過により、  
停止されていたフェニックス埋立処分場へ  
の搬入が、4月8日から再開されました。  
議会といたしましても、こうした事案の再

発防止と信頼回復に向けて引き続き取り組  
んでまいります。

庁舎整備に関する住民投票も4月に実施  
されました。庁舎の位置については、市民  
皆様の関心も高く、議会においても条例改  
正案や関連予算に対して真剣で精力的な議  
論を積み重ね、ご承知いただいていると  
り、議会の判断、意思を示したところであ  
ります。

10月には、「高島市まち・ひと・しごと創  
生総合戦略」が策定されました。この総合  
戦略は、「持続可能なまち高島」を目指して、  
今後5年間の基本目標や具体的な施策をま  
とめたものです。将来において、安定した  
雇用の創出や定住促進、充実した子育て環  
境の整備に取り組むことにより、人口減少  
や少子高齢化に歯止めをかけ、年代バラ

スのとれた人口構成を目指すもので、議会  
としても、それぞれの施策をしっかりと検  
証していかなければなりません。

地方分権改革の進展とともに、二元代表  
制の一翼を担う議会には、市民皆様の多様  
な意見を反映しながら、市民福祉の向上は  
もとより、市政のさらなる発展を目指して  
いくことが求められているところでありま  
す。このため、議員同士の活発な議論を促し、  
市民皆様の声をしっかりと受け止めながら、  
開かれた議会運営に努めてまいれる所存で  
ございます。

本年も議会に對しまして、さらなるご支  
援とご協力をお願い申し上げますとともに、  
市民皆様にとりまして素晴らしい年となり  
ますようご祈念申し上げます。新年のご  
挨拶とさせていただきます。



## 友好都市との交流

# 友

いろいろなご縁で友好都市との交流が  
始まりました。

高島とは違うまちで

出会うことがあります。

高島を訪れて

知ってもらえることもあります。

お互いのまちを知って、

お互いのよさに気づきます。

毎年のように

お互いのところへ行き交い

お互いのおみやげを持ち寄り、

お互いのことを知り、友情を育む

また、困ったときには

相手を気遣い、助けてくれる

そんな友人が高島市にもあります。

人、食べ物、文化、自然。つながるき  
っかけと、相手を知りたいという気持ち  
から交流が始まります。  
そこには、何度も会いたくなる「人」  
や「モノ」や「まち」があるかもしれま  
せん。  
こうした交流から、新たな気づきを得  
るかもしれません。

気づきは、私たちの意識を変え、新し  
い価値を生み出して、大きな躍動へと発  
展していきます。

そんなきっかけになるような交流を続  
けていきたいと願っています。



お正月は、久しぶりの旧友との再会で  
変わらぬ友情を確かめ合う機会も多いと  
思います。

今年も、高島市の「友人たち」にも思  
いを馳せてみませんか。





「O級くん」



「ミツ星ちゃん」

●O級グルメPRキャラクター

大洲ならではの食文化、食材を生かした新しい料理（O級ご当地グルメ）のPRをしています。

○愛媛県 大洲市

▶友好交流調印日 平成 18年9月1日

▶人口 45,599人

【大洲の旅・高島の旅】

両市の市民が、数年ごとに相手方のまちを訪れ交流を深めています。お互いに中江藤樹先生ゆかりの地を訪ね、藤樹先生の話の聞いたり、交流会を行ったりしています。



藤樹先生邸前でパシャリ

【中江藤樹小学生交流】

大洲市から、小学6年生約20人が毎年高島市を訪問され市内の小学生と交流し、友情を深めています。



【特産品販売交流】

お互いに相手方のイベントに参加し、特産品の販売を行っています。大洲市は、たかしままると特産市に、高島市からは大洲まつりにそれぞれ参加しています。



市民が中心となって深められる 友好

北海道 ニセコ町
カタカナ町名を縁に昭和53年に旧マキノ町との間に姉妹都市協定を締結しました。現在も、小・中学生が「少年交流・体験事業」を通じて交流をしています。また、市民交流団体による訪問交流も平成23年から再開しました。



沖縄県 伊江村
旧高島町で地域海洋センターが伊江村と同時期に建設（昭和60年）されたのを機に、平成6年から青少年スポーツ相互交流事業として、スポーツを通じた交流を現在も行っています。



岩手県 盛岡市
高島商人「小野組」が東北で成功した歴史的繋がりにより、「岩手滋賀県人会・近江商人末裔会」と、旧安曇川町および旧高島町の地元市民でつくる「みちのく高島商人に学ぶ会」が交流をしています。



高島市には、4つの友好交流都市があります。国内では、大阪府吹田市、守口市、愛媛県大洲市、国外ではアメリカ合衆国のミシガン州ペトスキー市です。今回の特集では、これらの市との交流の取り組みをご紹介します。

※調印日は、高島市となってから改めて調印をした日。人口は平成27年11月末時点（ペトスキー市以外）。

大阪府 吹田市

▶フレンドシップ交流調印日 平成17年9月1日

(災害時における相互応援協定も同時調印)

▶人口 366,385人

【少年キャンプ大会】

吹田と高島の子どもたちが、自然の中での体験活動とおして「発見・冒険・挑戦」の精神を養いながら、友情を育むために毎年キャンプを実施しています。昭和55年に始まり、今も続いています。



【吹田産業フェア】

毎年5月に吹田市で開催される吹田産業フェアに参加し、高島市特産品を販売しています。



【北千里駅前の産直市】

毎月2回、北千里駅前農産物をメインに生産者が対面で販売する産直市を開催しています。



●吹田市イメージキャラクター「すいたん」

吹田市の名産、伝統野菜の「吹田くわい」をモチーフにした男の子。



大阪府 守口市

▶友好交流調印日 平成18年4月25日

(災害時における相互応援協定も同時調印)

▶人口 144,653人

【エフエムもりぐち】

地域コミュニティFM放送局が運営する番組に出演し、高島市の旬な情報を守口市にお届けしています。今年度は海津大崎の桜の紹介やつくしの森を取り上げてもらいました。

【守口市民まつり】

毎年11月に開催される守口市民まつりに市の物産販売を中心に参加しています。市の農産品は多くの守口市民にご好評をいただいています。



【体験交流】

毎年、守口市民が訪問され、高島市の自然や文化にふれる一日を楽しんでいます。今年度は、10月3日（土）に25名が訪問され、大溝の町並み散策やいちじく狩りを満喫されました。



●守口市シンボルキャラクター

守口市の伝統野菜「守口大根」を首に巻いた、しば犬の男の子。愛称は選考中です。





# 新年から ごみ減量に

## チャレンジ!!

年の初めは、自宅で過ごされる機会が多くなることから、ごみも多く出ます。

燃やせるごみの多くは「生ごみ」です。水切りネットを使って、水を十分に切ってから燃やせるごみとして出してください。生ごみの水分が減るとごみ袋が軽くなり、かさも減ります。

また、一般家庭用生ごみ処理機、コンポスト等を利用し、燃やせるごみを削減しましょう。できた乾燥物は、植木や草花の肥料としても利用できます。ごみ減量・リサイクルに皆さんのご協力をお願いします。

### 3つのRでごみ減量!!

**① REDUCE (リデュース)**  
 [ごみになるものを減らす]  
 長年使えるものを選び、服などは洗って長く使おう。

**② REUSE (リユース)**  
 [再利用]  
 使わなくなったものをだまかに譲ろう。

**③ RECYCLE (リサイクル)**  
 [再生利用]  
 分別して資源として生かす。

市では一般家庭用生ごみ処理機などの購入費の一部を助成しています。ごみ減量・リサイクル推進のため、ぜひご利用ください。

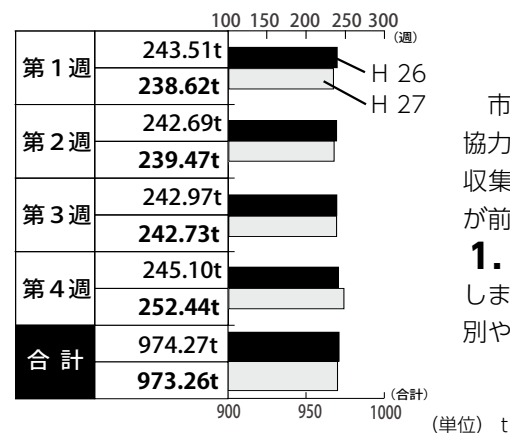


**補助** 2/3以内

- 補助対象**
- 電気式生ごみ処理機購入 (40,000 円限度)
  - コンポスト購入 (7,500 円限度)
  - コンポスト用基材購入 (3,000 円限度)

詳しくは、市のホームページ等でご確認ください。

### 11月の燃やせるごみの収集量



市民の皆さんのご理解とご協力により、環境センターに収集される「燃やせるごみ」が前年度同月に対して **1.01t (0.1%)** 減少しました。引き続き、ごみ分別や減量にご協力ください。

### 12月16日までの補助金申請受付状況

- 電気式生ごみ処理機…………… 803件
- コンポスト…………… 413件
- 事業所用 (大型) 生ごみ処理機…………… 16件



## 友好都市との交流

### アメリカ合衆国 ミシガン州 ペトスキー市

▶人口 5,670人 (2010年調査)

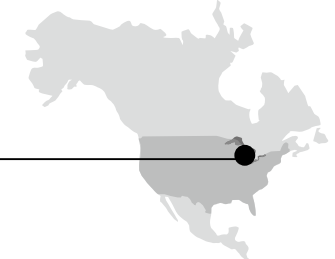
### 【ミシガン州友好親善使節団の訪問】

隔年で相互の友好親善使節団が相手方を訪問し、ホームステイを行って言語や文化の壁を越えた交流と学びを続けています。

今年度は、10月15日(木)から20日(火)までペトスキー市から7名が高島市を訪問されました。滞在期間中、高島市国際協会や通訳ボランティアの皆さんのサポートにより海津の町並み散策や福祉施設の見学、HUG (避難所運営訓練)などを体験されました。

昭和43年に滋賀県がミシガン州と姉妹提携したことを受け、「湖畔の観光リゾートのまち」を縁に、昭和51年旧マキノ町が同州ペトスキー市と姉妹都市協定を結びました。

## Petoskey



目の前で握られるお寿司に興味津々!



交流パーティ



海津地区を散策

There is a wonderful way of living in and around Takashima. Thank you so much for sharing it with me. All of the volunteers worked tirelessly to provide for a very enjoyable visit, and for that I will always remember it and be grateful.

(高島にいる間、とても貴重な体験ができた。ホストファミリーの方にも、そして私たちのために惜しみなく労力を提供して下さった皆さんにもありがとうございます。この思い出は一生忘れない。感謝の気持ちでいっぱいだ。)



ジョエルさん

I enjoyed the tour of the sake brewery and of Makino town very much. (私は酒蔵とマキノ町のツアーをととても楽しみました。)



シャパチャーさん

### 市民が中心となって深められる 国際交流

#### 中国浙江省 余姚市

陽明学の祖・王陽明の生誕の地ということから、平成4年から民間書道団体による書道交流が続けられています。



この他にもさまざまな都市と市民主導の親交があります。